

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月19日
北アルプス地域振興局

提出区分	実績		
整理番号	17	課題区分	C
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課
事業名	北アルプス連携自立圏と連携した「北アルプス地域で暮らし・働く」魅力発信事業		所属
			企画振興課
			電話
			0261-23-6501
			E-mail
			kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	<p>県外在住の移住希望者をターゲットに北アルプス山麓地域での暮らし、働くことの魅力をアピールするパンフレットを作成し、移住セミナー等で活用することにより本地域への移住を推進する。</p> <p>また、北アルプス地域としての中京圏への移住施策の取組を推進する。</p>	
	現状と課題	<p>○北アルプス地域で暮らし・働く魅力発信パンフレットの作成 移住希望者が多い長野県において、移住先エリアとして北アルプス地域が選ばれるため、当地域で暮らし、働くことの魅力をPRするため、昨年度、圏域移住パンフレットを作成し活用している。記事内容や構成、完成度など移住希望者や県外移住サポートデスクから高く評価を得ており、今年度も継続して使用するため、記事の時点修正や増刷が必要。</p> <p>○県名古屋観光情報センター移住推進員視察 本年度、UIJターン就業・創業移住支援事業が始まり、本県独自に中京圏及び関西圏からの移住者も対象としており、また県名古屋観光センターの移住推進員が交代したため、中京圏における北アルプス地域のPR・移住推進体制の充実が重要となっている。</p>	
概要	内容 (変更後の内容)	<p>1 北アルプス地域で暮らし・働く魅力発信パンフレットの作成・配布</p> <p>(1)実施方法 昨年度、北アルプス地域振興局と北アルプス連携自立圏、構成市町村との共同で紙面を構築したパンフレットについて、内容の時点修正など見直しを行い、地域振興局において印刷製本し活用する。</p> <p>(2)掲載内容 ○北アルプス地域の基本情報(アクセス、気象、医療、保育等) ○各5市町村ごとの移住者への取材記事及び市町村の移住施策について ○地域おこし協力隊紹介ページ</p> <p>(3)仕様 A3二つ折り、16ページ、フルカラー、1,000部</p> <p>2 県名古屋観光情報センター 移住推進員の視察</p> <p>(1)実施時期 9月10日、11日(信州暮らし推進課で調整し、決定)</p> <p>(2)実施内容 管内5市町村ごとに視察や移住者との懇談等を予定(1泊2日) また上記パンフレットについても説明し、積極的な配布・活用を依頼</p>	
	事業期間	令和元年9月 ~ 令和2年3月	
等	成果目標 (成果指標)	中京圏から当地域への移住相談等の件数の増加、UIJターン就業・創業移住支援事業による中京圏からの移住者の確保	

(単位:円)

事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考
暮らし・働く魅力発信パンフレットの作成・配布	北アルプス地域の移住パンフレットの作成・配布、移住情報誌への記事掲載	99,990	
県名古屋観光情報センター移住推進員の視察	移住推進員の管内5市町村の視察、移住者との懇談等	19,900	
合計		119,890	

事業実績・成果	事業の実績	事業の成果	評価
○暮らし・働く魅力発信パンフレットの作成・配布 ・A4版、フルカラー、16ページにより1,000部作成 ・各市町村移住相談窓口での配布のほか、県外の国・県等移住関係7機関へ配布。 また、移住イベント等でも幅広く活用 ○県名古屋観光センター移住推進員の視察 ・9/10・11に実施し、全5市町村の視察を実施		○パンフレットについては、掲載内容等が各種イベントでも好評であるとともに、県外移住相談窓口から追加送付依頼があるなど、北アルプス地域のPR媒体として効果的なものとなった。 ○名古屋の移住推進員からは、中京圏では南信地域の人気が高く、今後の相談業務で北アルプス地域を紹介できる契機となった旨の報告があった。	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下

今後の方向性 今後も引き続き、連携自立圏での取組と連携しながら、「北アルプス地域」として魅力を発信して